

有限会社大昌建設

SDGsの取組

取組・活動内容	有限会社大昌建設は、「最高の人生に貢献します」という理念のもと創業以来、型枠事業を通して人、街、安心を築いています。 従来の木材による工法とは別で金属のみ使用するラス型枠工法を取り入れ”少しでも環境にやさしい”を意識しています。 また太陽光発電による脱炭素エネルギー事業も行っています。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 4, 8, 10	<ul style="list-style-type: none">・社員の資格取得を奨励していく・マイスター制度（専門技術を持つ人を育成、支援していく制度）を導入し、実力主義を徹底する	<ul style="list-style-type: none">・2024年までに現場作業で主に必要な資格（玉掛け1t以上、その他）の取得を国籍問わず全社員の90%の取得を目指す。・2025年までにマイスター制度を導入
	社会 3, 8	<ul style="list-style-type: none">・従業員に、有給休暇取得について、個人面談や社内共有SNSなどで周知し、有給休暇取得向上を目指す	<ul style="list-style-type: none">・2025年までに、有給休暇取得率を対2022年比20%アップする
環境 11, 13, 15	ラス型枠工法（木材を使用しない工法）を推進する	<ul style="list-style-type: none">・木材を使用する従来の工法との売上比率を2025年までに50%以上にする	